

# 春漁情報第5報 (コウナゴ)

令和5年3月16日

宮城県水産技術総合センター環境資源チーム

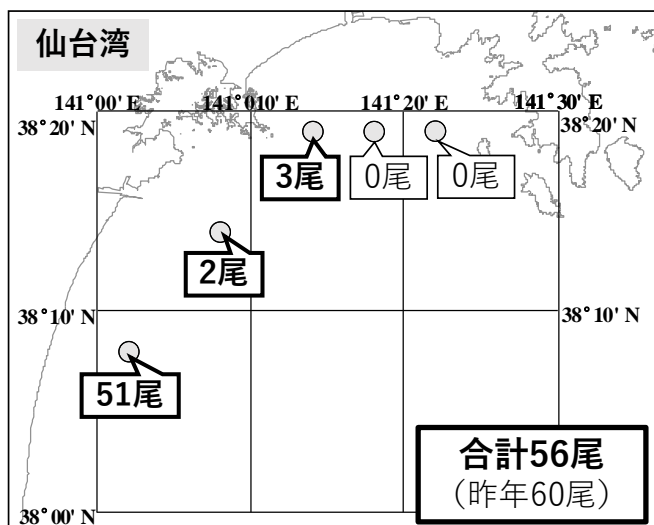
TEL:0225-24-0139

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/mtsc/>



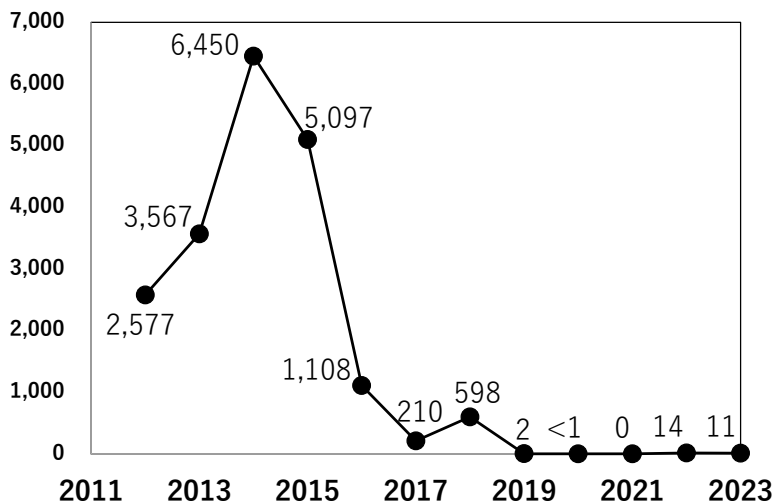
- ・令和5年3月15日に、仙台湾でイカナゴ仔稚魚調査を行いました。
- ・採集尾数は56尾と、いずれも昨年度の調査と同様わずかで引き続き不漁年と同等の水準となっており、コウナゴの漁模様は引き続き厳しいものと予測されます。
- ・黒潮系水が沿岸に波及している影響で、表面水温は平均9.2℃(8.5~10.0℃)と例年に比べ高くなっています(昨年平均7.2℃)。
- ・採集したイカナゴの平均体長は32.4mmで、例年に比べかなり大きくなっています(震災後の平均26.3mm)。

## 【地点ごとの採集尾数】

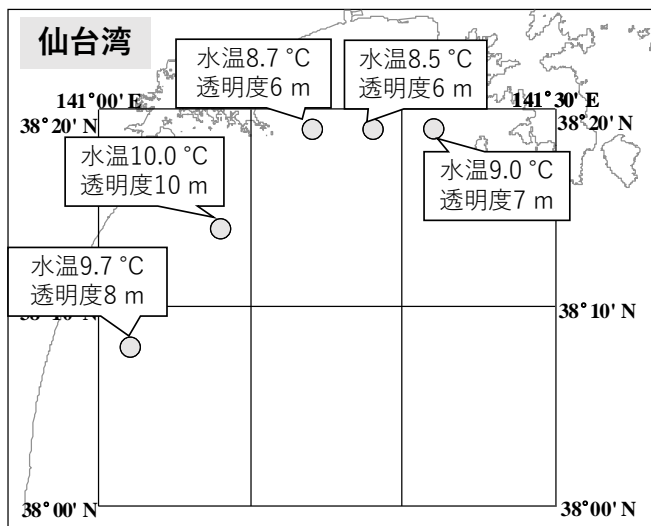


※調査方法：中層トロール10分間曳網

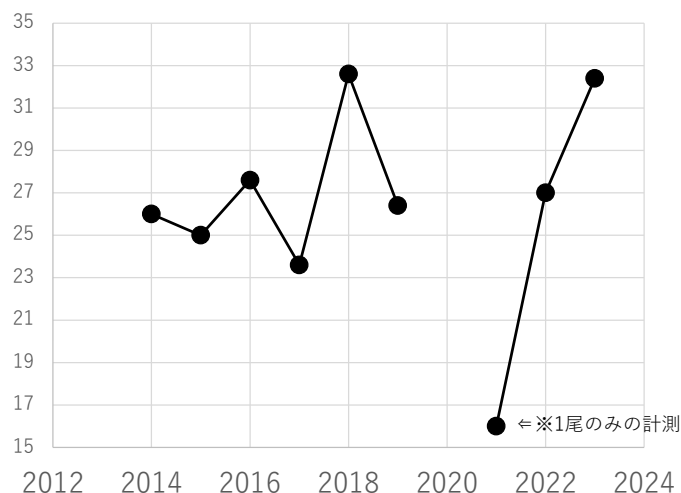
## 3月の仙台湾調査における平均採取尾数



## ●地点ごとの水温と透明度、平均体長の推移



## 3月の仙台湾調査の平均体長の推移



黒潮系水が波及している影響で、表面水温は例年よりも1~2°C程度高くなっています。高い水温を反映して、イカナゴの成長は早く、例年よりも体サイズが大きくなっています (15~42 mm、平均 32.4 mm)。

## ●その他の採集物

イカナゴの他、マアナゴの葉形幼生、カレイ類の稚魚等が採集されました。特にマアナゴ幼生は多く、全地点で合計 126 尾が採集されました。

**海況情報  
はこちら  
をチェック**

気象庁  
日別海面水温

海況予測システム  
FRA-ROMSII  
(水産研究・教育機構提供)

JAFIC会員サービス  
(漁業者のみ、要会員登録)